



# 救急車の適正利用にご協力をお願いします。

甲賀広域行政組合消防本部  
甲賀地域救急業務高度化運営協議会

甲賀市・湖南市を管轄している甲賀広域行政組合消防本部では、管内に8台の救急車を配備し救急要請に対応しています。しかし、近年の救急要請の増加により救急車が不足してしまうおそれがあります。



## 一本当に救急車が必要ですか？

救急車は、ケガや急病など緊急に医師の治療を受ける必要がある人のものです。

近年、全国的に救急車の出動件数は年々増加しています。甲賀市と湖南市においても例外ではなく平成26年には、5,620件の出動があり、10年前に比べると21%の増加です。市民の約26人に一人が年間に1回救急車を呼んでいるという計算になります。

救急要請の中には、単なる酒酔いや「どこの病院へ行ったらよいのかわからないので・・・。」「救急車でいったほうが早く診てもらえるから・・・。」など緊急性が低いと思われるケガや病気による救急要請も少なくありません。このままでは、本当に医師の治療を受けることが必要な重症者のもとへの救急車の到着が遅れ、助かるはずの大切な命を救えなくしてしまう可能性があります。

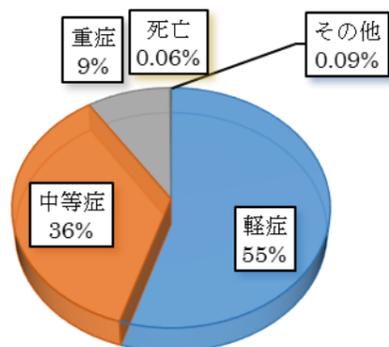
大切な命を救うために、緊急性のないケガや病気はなるべく自家用車やタクシー、公共交通機関の利用をお願いします。

甲賀市・湖南市での救急を傷病程度別にみると、軽症の方が占める割合が半数以上になっています。その中には、緊急性を伴わない救急要請であると思われるものもあります。

救急車を呼ぶほどではないが、どこの病院に行けばよいのかわからない場合は、救急情報提供サービスをご利用ください。

救急医療ネットしが

<http://www.shiga.iryo-navi.jp/gqport/kenmintop/>



## 救急車利用マニュアル

救急車の出動件数や搬送人員の増加に伴い救急隊が現場に到着する時間も遅くなっています。そこで、総務省消防庁が皆様に上手に救急車を利用していただけるように「救急車を上手に使いましょう。～救急車 必要なのはどんなとき?～」を作成しました。

下記よりリンクしますので、救急車を呼ぶべきか迷った場合などに活用してください。

総務省消防庁 [http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya\\_manual/index.html](http://www.fdma.go.jp/html/life/kyuukyusya_manual/index.html)



## 救急通報のポイント

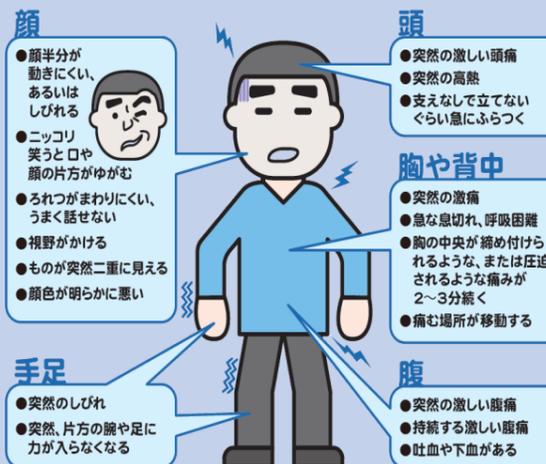
- 救急車を呼ぶときの番号は「119番」です。
- 救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。応急手当が必要なときは、消防本部から電話で指示されます。  
(大切な方を救うためにも応急手当を身につけておきましょう。)
- 応急手当をしている人以外にも人手がある場合は、**救急車の来そうなところまで案内に出る**と到着が早くなります。
- 救急車を呼んだときに**用意しておく**と便利なもの
  - 保険証や診察券
  - お金
  - 履き物
  - 普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)
 (乳幼児の場合)
  - 母子健康手帳
  - 紙おむつ
  - ほ乳瓶
  - タオル
- 救急車が来たら、**こんなことを伝えてください**。
  - 事故や具合が悪くなった状況
  - 行った応急手当
  - 救急隊が到着するまでの変化
  - 具合が悪い方の情報 など



## ためらわず救急車を呼んでほしい症状

こんな症状がみられたら、**ためらわずに119番に連絡してください!**  
重大な病気やけがの可能性がります。

(大人)



意識障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても意識がもどらない

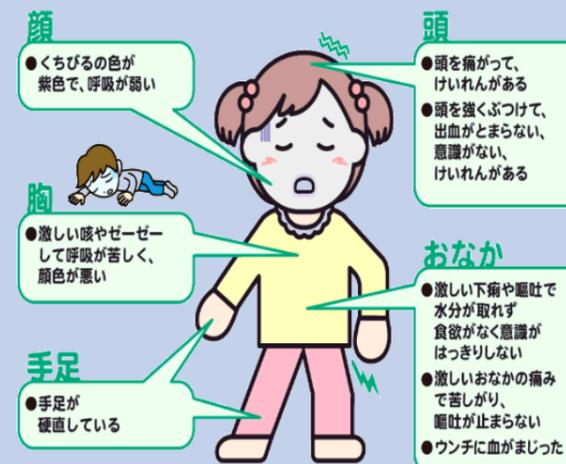
けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど、傷みのひどいやけど

乳児

- 乳児の様子がおかしい

(小児：15歳未満)



飲み込み

- 変なものを飲み込んで意識がない
- 食べ物のをどに詰めて呼吸が苦しい

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高い所から落ちた

その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合